

令和6年度 国立大学法人琉球大学入札監視委員会 議事概要

開催日時及び場所	令和6年12月17日（火）15:00～16:00 国立大学法人琉球大学 本部管理棟2階 第二会議室		
委 員	委員長 仲地 健（沖縄国際大学 産業情報学部 教授） 委 員 上原 道子（上原道子行政書士事務所） 委 員 田里 友治（税理士法人 SOUTH POINT）		
審議対象期間	令和5年10月1日～令和6年9月30日		
抽出案件（合計）	6 件	①委員長の選出 国立大学法人琉球大学入札監視委員会設置要項第3条に基づき、互選により仲地委員が委員長に選出された。 ②審議事項 抽出案件について、資料に基づき、事務局より概要及び契約内容の説明を行った。 質疑応答があり、内容を点検及び確認し、全ての案件が問題無しと承認された。	
工事（小計）	4 件		
一般競争入札 （政府調達に関する協定対象工事）	0 件		
一般競争入札 （上記工事を除く）	3 件		
工事希望型競争入札	0 件		
通常指名競争入札	0 件		
随意契約	1 件		
設計・コンサルティング業務	2 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし		

質 問	回 答
1. 建設工事の入札・契約状況について【報告事項】 (事務局より説明) ・ 特になし	
2. 設計・コンサルティング業務の入札・契約状況について【報告事項】 (事務局より説明) ・ 特になし	
3. 指名停止等の措置状況について【報告事項】 (事務局より説明) ・ 特になし	
4. 抽出案件の審議 ①琉球大学（千原）産学官連携棟外壁他改修工事 (事務局より概要及び契約内容の説明) ・ 低入札ということで、予定価格より大分低い。あまりにも資材が安いと資材の品質について不安があるが、資材の品質についてはどのように確認しているのか。 ・ 下請けに無理を言って、低価格で抑えているのではないかな。 以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。	・ 特記仕様書等で、使用する資材の種類は指定しております。監督職員の方でも写真及び現場調査を行い、資材の確認及び施工方法を確認しているので、品質については問題ありません。 また、下請け業者の協力のもと、低価格の調達が可能となったとヒアリング調査時にも確認が取れています。 ・ 対象業者は、過去に本学と契約した実績（令和2年度～令和5年度）がある業者であり、下請け業者との長い付き合いの中で低価格での調達をしており、良好な関係を構築していると低入札価格調査の際にヒアリングでも確認しています。
②琉球大学（千原）附属中学校グラウンド改修工事 (事務局より概要及び契約内容の説明) ・ 一般的に入札公告において、競争参加資格として「元請け」としての工事経験を求めていることが多いと思うが、実際の現場では下請け業者も当該工事経験は豊富であると思う。 競争参加資格として「下請け」としての工事経験も認めていただけないか。 ・ 下請け業者でも、1級土木施工管理技士の資格を持っている業者もいるのではないかな。 ・ 文部科学省の資格登録をしていますが、文部科学省の発注工事で「下請け」での工事経験があるが、「元請け」としての工事経験がない業者は、今回の工事に参加することが出来なかった。工事契約金額もそれほど大きくはないので、「下請け」での工事経験でも工事が出来たと思うが、発注する側がやはり「元請け」重視なのか。 以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。	・ 本工事の競争参加資格として、企業については下請けを管理する「元請け」としての工事経験を求めています。 管理の品質を問う意味でも、配置予定技術者については、1級又は2級土木施工管理技士の資格及び「元請け」としての工事経験も必要です。「下請け」を指導する立場の「元請け」が、現場管理を確実なものにするため、入札公告に記載しています。 ・ そのように考えます。 しかしながら、文部科学省の資格登録をし、土木一式工事に係る「B」、「C」又は「D」等級に該当していれば、下請けの工事経験が豊富な業者であっても、実績によっては元請けとして参加が可能であり、条件設定は広く設けています。 ・ 公的機関だけでなく、民間での「元請け」としての工事経験があれば、案件によっては入札に参加できるものもあります。 例えば一つの工事の中にも、舗装工だけでなく植栽工も含まれている工事もあり、一体として工事を管理した経験がなく、単に舗装工だけの「下請け」経験しかない業者の場合、提出書類準備等の手続きの経験がないので、仕様書のスケジュールどおりに工事が進まない可能性があります。そのため、「元請け」としての工事経験を大前提として入札公告に記載しています。

質 問	回 答
③琉球大学（西普天間）体育館新営工事 （事務局より概要及び契約内容の説明） ・ 工事実績を見ると平成３０年度の実績で、実績としてはそれほど新しくはないがそこは問題ないのか。 以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。	・ 本工事は、競争参加資格の申請が１社のみでした。１社応札の理由について分析したところ、技術者不足が原因と考えられました。 求めた工事実績（延べ面積５００㎡以上の公共施設のスポーツ施設及び学校の屋内運動場の新営工事を施工した実績）も、発注件数の多い工事ではないので、平成３０年度実績であっても特に問題ありません。
④琉球大学（西普天間）健康医療プラザ新営工事 ⑤琉球大学（西普天間）健康医療プラザ新営設計業務 （事務局より概要及び契約内容の説明） ・ 設計が終わって工事の入札公告をしたところ不落となり、地盤改良の内容が変わり随意契約をすることになったとのことだが、設計変更も必要となったと思うが、その詳細を伺いたい。 ・ 設計変更では費用は発生しなかったのか。 以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。	・ 当初は杭工事で設計し、予定価格を設定していたが、業者の見積金額と本学の予定価格との間に差があり、その理由を業者に確認したところ、過去の地盤調査では標準貫入試験しかなく、そのまま杭工事をするのはリスクが高いため、別途詳細な地盤調査をするための費用を見積金額に盛り込んでおり、そのため値下げ交渉には応じられないと回答があり、不落となりました。 大学としても再度詳細な地盤調査をすべきという判断となり、調査結果として地盤改良のみで良いということになりました。 また、地盤改良は土の中だけの変更で、建物の本体側（基礎から上の部分）は設計変更がなかったことから、当初入札に参加した業者と随意契約に至りました。 ・ 建物本体としての設計変更はなかったので費用は発生しませんでした。が、計画通知の変更費用等は発生しました。本設計業務は既に完了しているため、別途随意契約で計画通知の変更を行いました。
⑥琉球大学（千原）工３号館等改修設計業務 （事務局より概要及び契約内容の説明） ・ 落札率が２５．９５％ということで、今回の落札金額で設計業務を遂行できると判断した検討プロセスを説明いただきたい。 ・ 予定価格自体の上昇だけでは、落札率２５．９５％という結果にはならないのではないか。過去に今回の設計業務に関連した設計業務の経験があったのか、それとも大学から過去の図面やデータの提供があったことで低価格となったのかと推測したが、そうではないのか。 ・ 予定価格と入札金額に大きく開きがあるということは、予定価格自体に問題があったのではないかと考えたが、そうではなく、予定価格自体は適正に積算されたということか。 以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。	・ 基準となる予定価格が令和６年１月に改訂となり、設計技術者の単価が約９％上昇しており、例年より予定価格自体がアップしました。 大学側で想定していた図面の枚数と人工の数について、業者側との差が大きかったため、金額の開きに繋がりました。業者提出の内訳書の確認及びヒアリング調査を行ったところ、必要最低限の条件は満たしていたことから、過去の実績も踏まえて問題ないと判断し、契約に至りました。 ・ 今回は改修設計業務のため、一部ＣＡＤデータの提供を行いました。設計時には影響度や複雑度も加味して業務を行います。が、本学と業者との間の認識に差異があったのではないかと考えられます。しかしながら、成果品としては適正なものを提出してもらいました。 ・ そのとおりです。実際今回４社入札参加者があり、２社は低入札価格でしたが、残り２社は予定価格の範囲内での入札でした。